

報告書抄録

ふりがな	あさかしまいぞうぶんかざいはくつちょうさほうこくしゅうほう 11							
書名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報 11							
副書名	人部・峽遺跡第 13 地点 宮下遺跡第 2 地点 榎戸・諏訪原遺跡第 7 地点							
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第 59 集							
著者名	照林敏郎・林 邦雄							
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課							
所在地	〒 351-0007 埼玉県朝霞市岡 2 丁目 7 番 22 号 ☎ 048-463-2927							
発行年月日	2024 (令和 6) 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
にんべ はけいせき 人部・峽遺跡 だい ちてん 第 13 地点	さいたまけんあさかしみやど 埼玉県朝霞市宮戸 いっちやうめ 一丁目 1278-1 ~ 3、 1281-18・-37	11027	008-013	35° 49' 19"	139° 35' 51"	2021. 5. 14 ~ 2021. 7. 3	205. 54 m ²	記録保存調査
みやしたいせき 宮下遺跡 だい ちてん 第 2 地点	さいたまけんあさかしみぞめま 埼玉県朝霞市溝沼 みくちやうめ 六丁目 1186-1・-3	11027	008-040	35° 48' 26"	139° 35' 28"	2016. 12. 13 ~ 2017. 2. 28	720. 39 m ²	記録保存調査
えのきど すわほらいせき 榎戸・諏訪原遺跡 だい ちてん 第 7 地点	さいたまけんあさかしおか 埼玉県朝霞市岡 いっちやうめ 一丁目 1023-1	11027	008-049	35° 48' 22"	139° 35' 52"	2018. 3. 15 ~ 2018. 4. 17	412. 99 m ²	記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
人部・峽遺跡 第 13 地点	集落跡	縄文時代	屋外炉跡 1 基 ピット 10 基		縄文土器、石器 (打製石斧・石皿・剥片)		弥生時代から古墳時代前期の住居跡が 2 軒、古墳の周濠が検出された。	
		弥生時代	住居跡 1 軒、土坑 1 基		弥生土器			
		古墳時代	住居跡 1 軒、古墳周濠 1 基		土師器、須恵器			
		中世以降	なし		磁器、陶器、土師質土器、素焼土器			
		時期不明	土坑 1 基、ピット 10 基		なし			
宮下遺跡 第 2 地点	集落跡	縄文時代	土坑 3 基、ピット 5 基		縄文土器、石器 (凹石)		近世以降を中心とする溝跡が 5 条や井戸跡が 2 基、土坑やピットが検出された。	
		平安時代	なし		須恵器			
		中世	土坑 2 基、ピット 1 基		素焼土器、銭貨			
		近世以降	掘立柱建物跡 1 棟、溝跡 4 条、井戸跡 2 基		磁器、陶器、土師質土器、素焼土器、炆器、銭貨			
		時期不明	溝跡 1 条、ピット 97 基		なし			
榎戸・諏訪原遺跡 第 7 地点	集落跡	縄文土器	溝跡 1 条、ピット 97 基		縄文土器、石器 (打製石斧)		縄文時代の土坑とピットが複数検出された。	
		弥生時代	なし		弥生土器			
		平安時代	なし		須恵器			
		時期不明	土坑 6 基、ピット 77 基		なし			
要約	<p>朝霞市内における 3 ヲ所の発掘調査を収録した報告書で、人部・峽遺跡第 13 地点、宮下遺跡第 2 地点、榎戸・諏訪原遺跡第 7 地点の成果をまとめたものである。</p> <p>人部・峽遺跡第 13 地点では、弥生時代後期の住居跡、弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡、古墳の周濠が検出され、周辺の発掘調査事例に新たな知見を加えることができた。宮下遺跡第 2 地点では、近世を中心とした溝跡や井戸跡が検出され、遺跡周辺の近世期における土地利用の一端が確認できた。榎戸・諏訪原第 7 地点では、縄文時代を中心とした土坑やピットが検出された。</p>							